

# 中京圏の現状と将来像

# 中部圏広域地方計画の概要（平成28年3月29日決定）

## ■ 中部圏の将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた

### “世界ものづくり対流拠点-中部”

## ■ 目指す方向

＜世界の中の中部＞

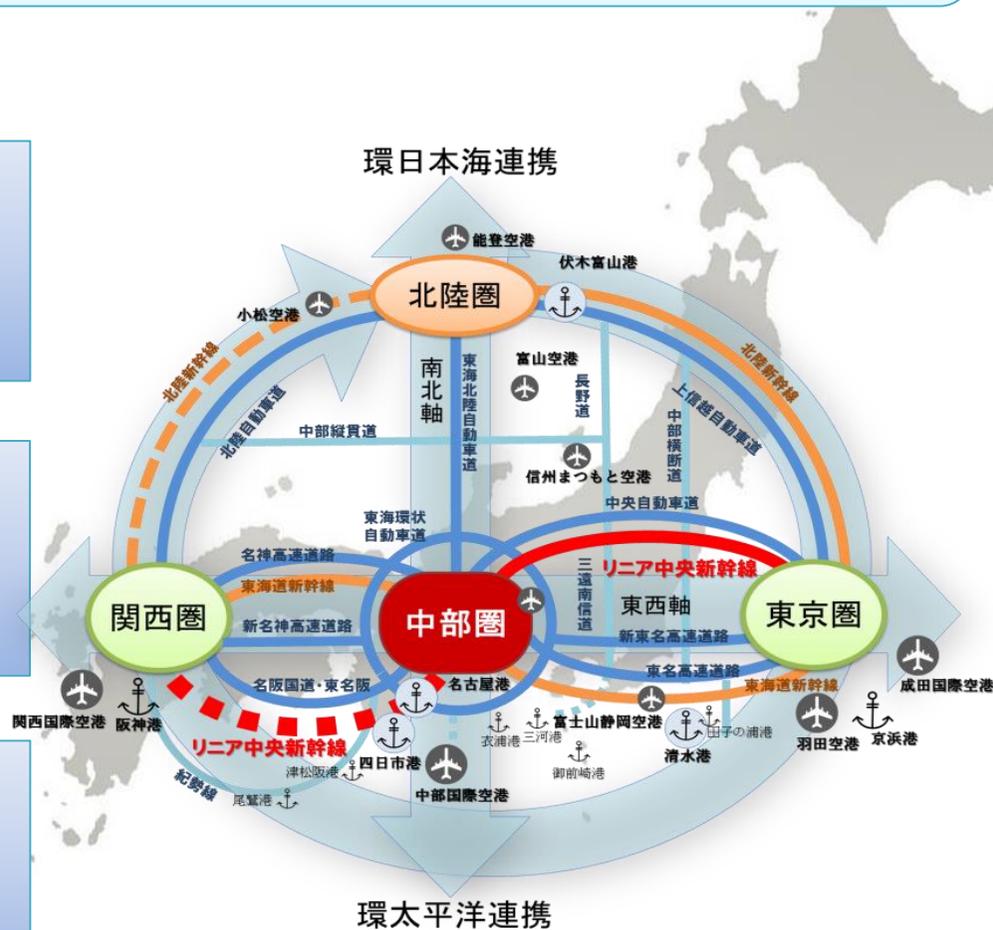
世界最強・最先端のものづくり  
産業・技術のグローバル・ハブ

＜日本の中の中部・中部の中の人々＞

リニア効果を最大化し都市と地方の  
対流促進、ひとり一人が輝く中部

＜前提となる安全・安心、環境＞

南海トラフ地震などの災害に強く  
しなやか、環境と共生した国土



# ものづくりを支える産業基盤の強化

- 我が国の成長を担う産業の強化
- 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生
- 国際競争力を支える産業基盤の強化 等

## 【戦略産業】

### ■自動車関連産業

次世代自動車 FCV(MIRAI)



【出典】トヨタ自動車株式会社HP

### ■航空宇宙産業

H27.11.11 MRJ初飛行



【写真提供】三菱航空機株式会社

### ■ものづくり中堅・中堅企業の振興 (メッセナゴヤ開催)



【写真提供】メッセナゴヤ実行委員会

### ■ものづくり関連新産業創生 (ロボット産業の振興)



あいサービスロボット  
実用化支援センター



高齢者向けの  
癒やしロボット

【出典】愛知県HP

### ■水素社会普及啓発

愛知県水素社会普及啓発センター



【写真提供】愛知県

### ■エネルギーの多様化 (木質バイオマス発電)

木質バイオマス発電プラント  
(瑞穂市)



【出典】岐阜県HP



### ■東海北陸コンポジットハイウェイ構想

名古屋大学・岐阜大学・金沢工業大学や公共試験研究機関など産学連携ネットワークによる、炭素繊維複合材に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界的な一大拠点を目指す

#### 北陸

- ・繊維産業・新素材産業の技術蓄積
- ・炭素繊維複合材の研究開発・生産



炭素繊維

プリプレグ

#### 東海

- ・自動車・航空機等メーカーの集積
- ・炭素繊維複合材の応用研究、加工・組立



#### 連携

### ■ヘルスケア産業



### ■新東名高速道路



### ■名古屋港



【写真提供】中部国際空港株式会社

### ■遠隔自働RTG



世界初

# 中京圏のものづくり

○中京圏の製造品出荷額は全国の約1/5

○特に、中京圏の自動車・航空機関連の製造品出荷額等のシェアは全国の5割から6割であり、日本の輸送用機械器具製造業の発展を牽引

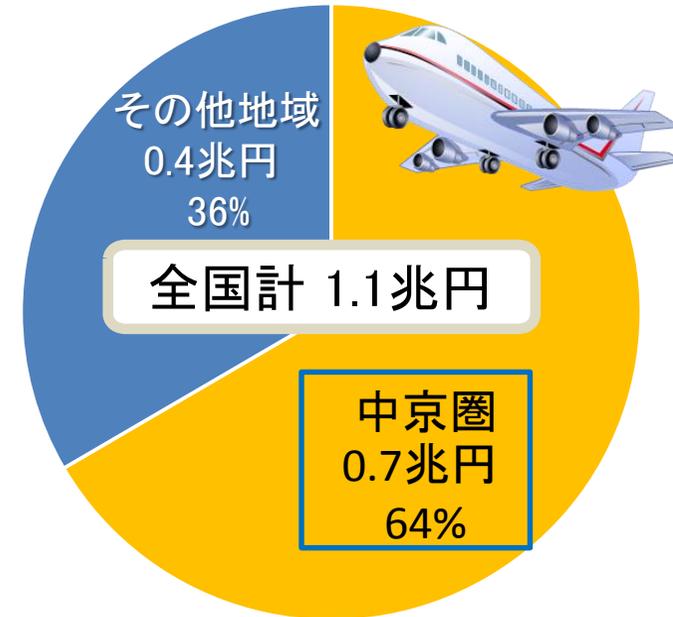
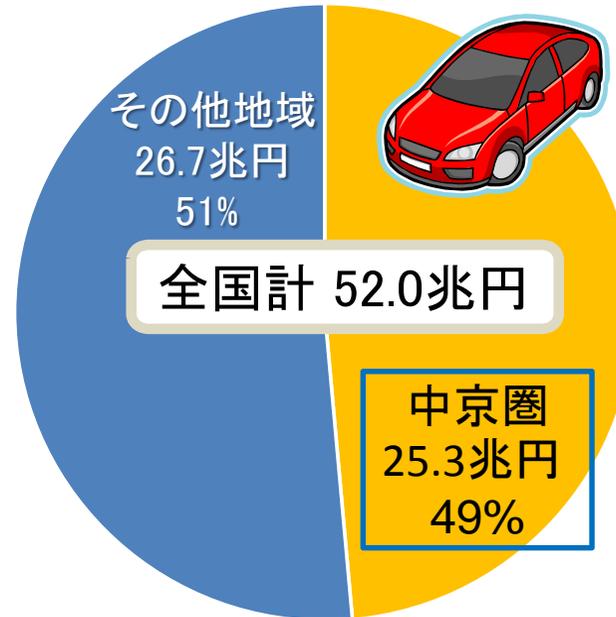
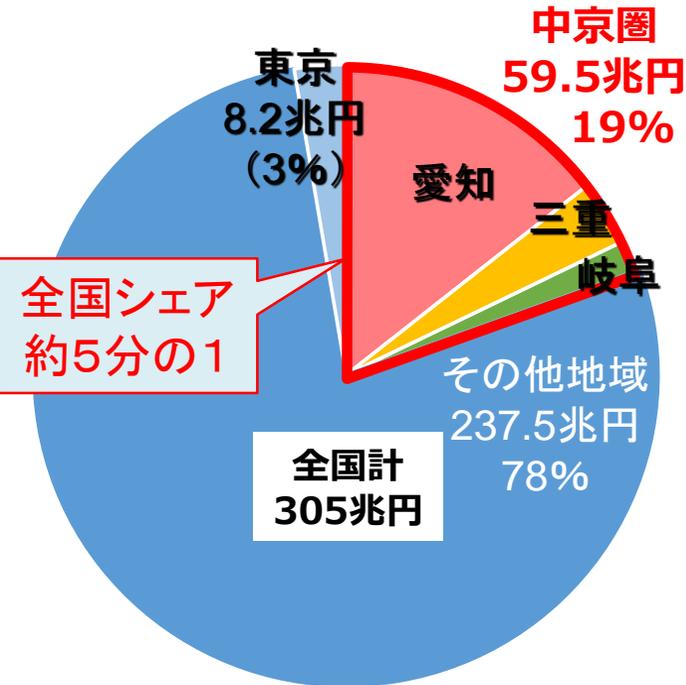
## ■中京圏の製造品出荷額等 (H26)

## ■自動車製造出荷額 (H26)

## ■航空機関連製造出荷額 (H26)

(自動車製造業(二輪自動車を含む)、  
自動車車体・附随車製造業、自動車部分品・附属品製造業)

(その他の航空機部分品・補助装置製造業)



出典：平成26年工業統計

# 中京圏の産業とインフラ整備

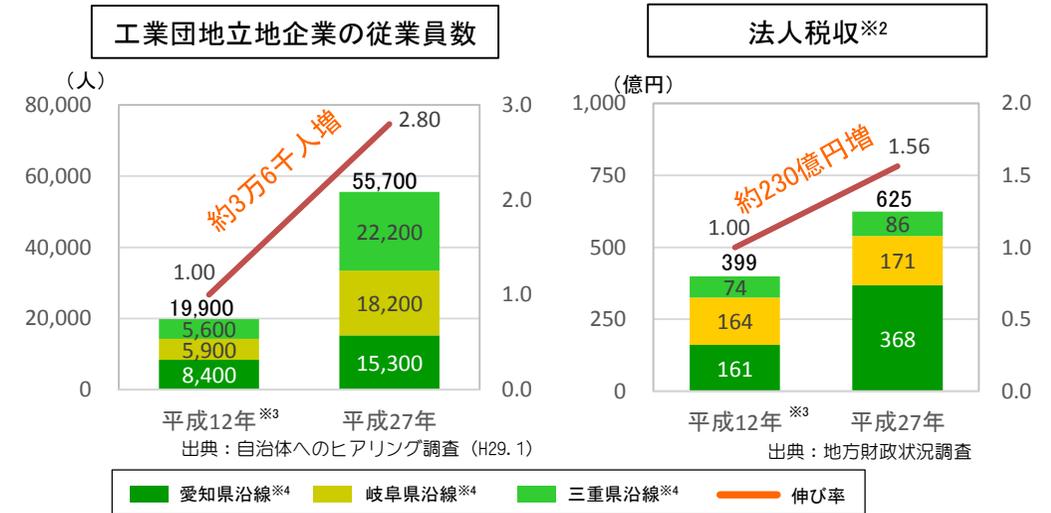
- 東海環状自動車道の整備により沿線自治体の法人税収が230億円増
- 名二環の経済効果は累積約3兆8千億円、中京圏の経済発展を牽引

## ■中京圏における環状道路の整備状況 (東海環状道路自動車道、名二環)



※1 財投活用による整備加速予定箇所(平成36年度開通見込み(用地取得が順調な場合))

## ■東海環状自動車道の整備効果



## ■名二環の整備効果

### 名二環の開通による経済効果(民間会社試算)

- ・名二環の開通によって、28年間で約3兆8千億円の経済効果<sup>※5</sup>
- ・経済成長率に換算すると、年平均0.49%に相当し、中京都市圏の経済発展を牽引<sup>※6</sup>

出典:三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)政策研究レポート

※2 法人税収:市町村民税の法人税割と法人均等割の和

※3 平成12年:東回り(関広見IC~豊田東JCT)全線工事着工年

※4 東海環状(豊田東JCT~新四日市JCT)が通過する愛知県2市、岐阜県18市町、三重県3市

※5 名二環の最初の開通年である1988年から2015年までの28年間の累積便益を現在価値換算した結果

※6 1988年の経済規模を基準として、28年間をかけて、累積便益の3兆8千億円の経済効果額分が中京都市圏の総生産に上乗せされたと仮定

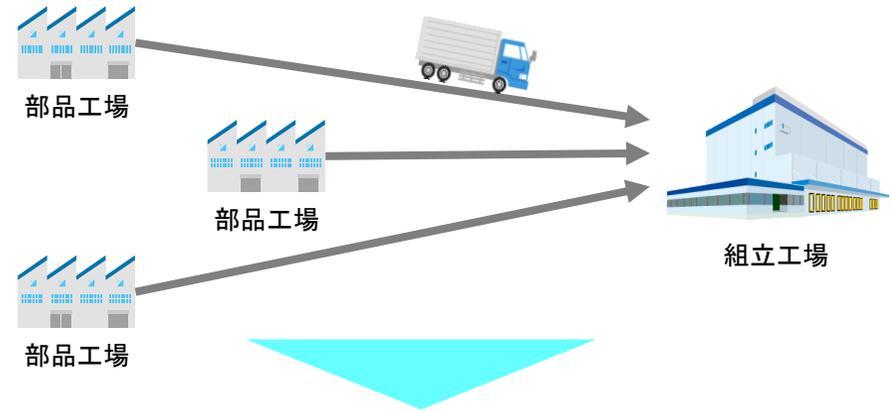
# 中京圏の製造業とインフラ整備

- 東海環状西回りの整備により効率的な物流(巡回集荷)を支援
- 物流効率化による機体コスト低減は航空機産業の国際競争力を向上

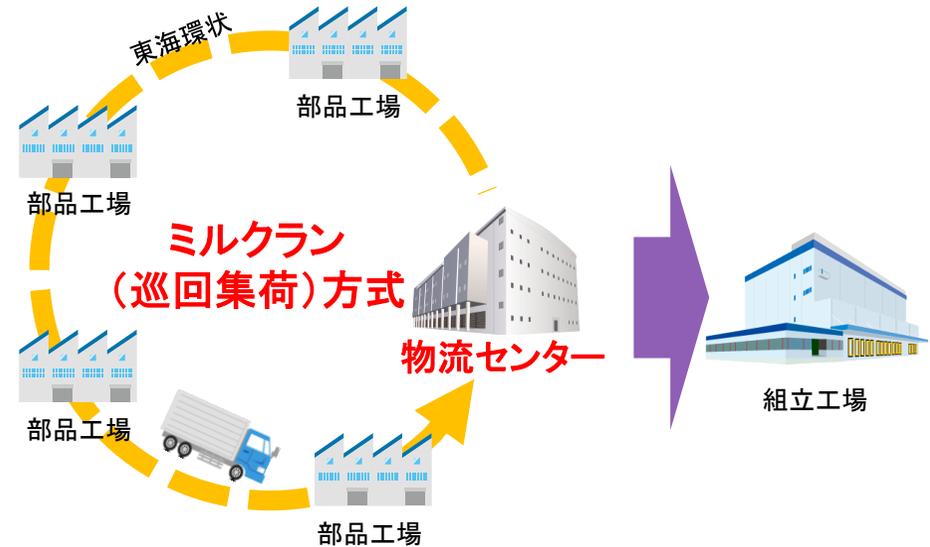
## 東海環状と主な航空機部品工場



## [開通前] 部品工場から個別に組立工場へ輸送

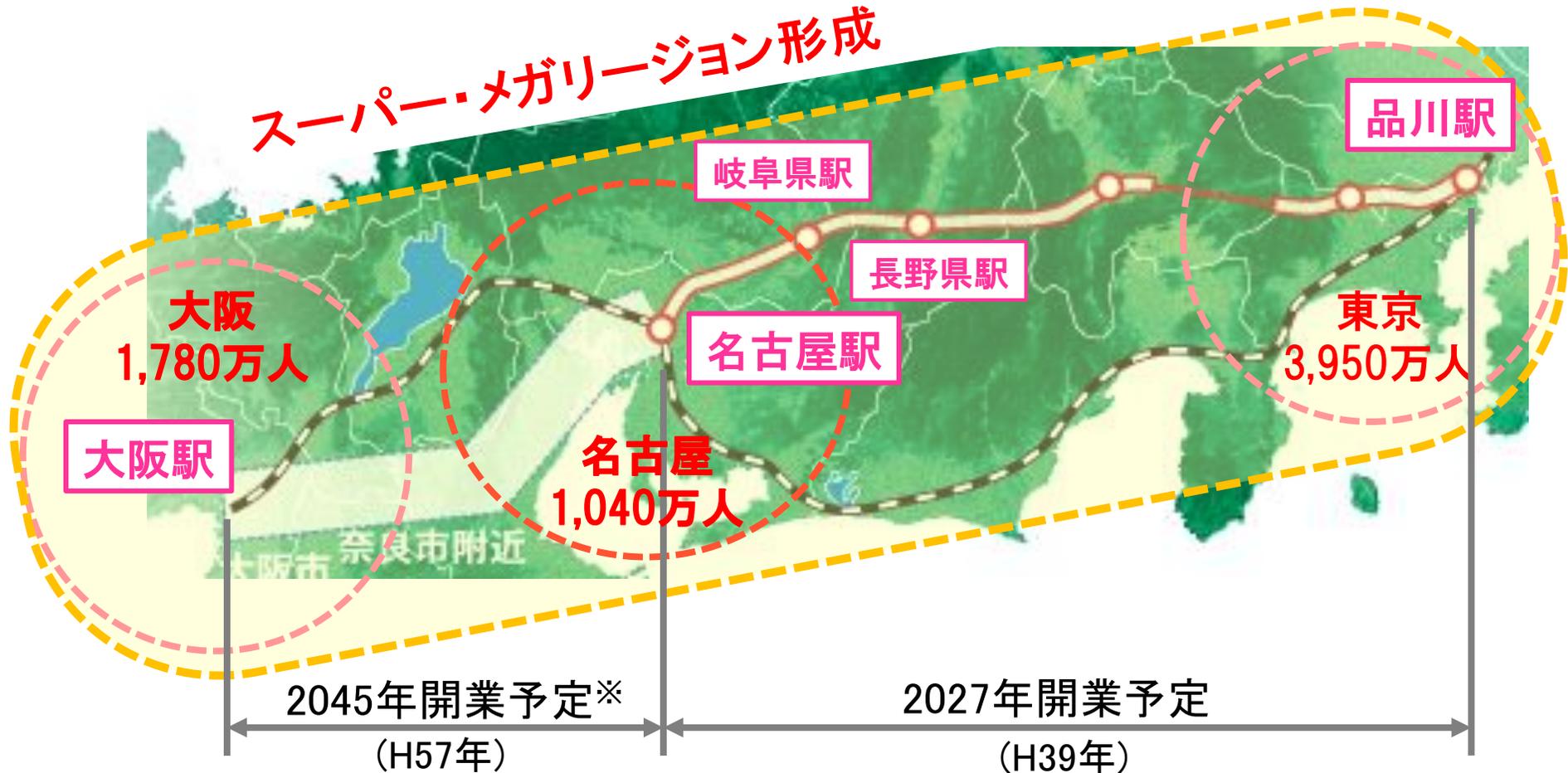


## [開通後] 複数の部品工場を巡回集荷、集約して組立工場へ輸送



## 世界を先導する「スーパー・メガリージョン」を形成

- リニア中央新幹線により三大都市圏の移動時間が短縮、人口約7,000万人の「スーパー・メガリージョン」の形成が期待
- 中京圏が「スーパー・メガリージョン」の中心部に位置



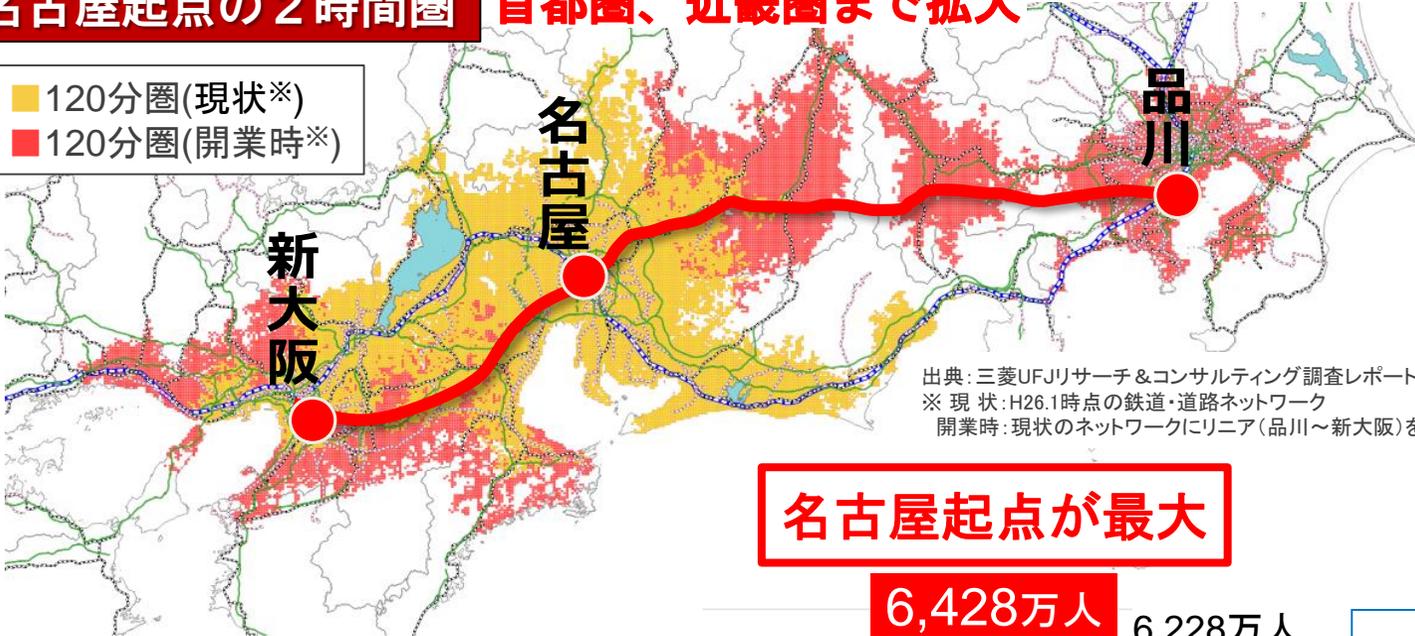
※全線開業については、「未来への投資を実現する経済対策」について平成28年8月閣議決定にもとづき、最大8年間前倒しする予算措置が講じられている

# リニア全通時の交流圏の姿(全国最大の交流圏)

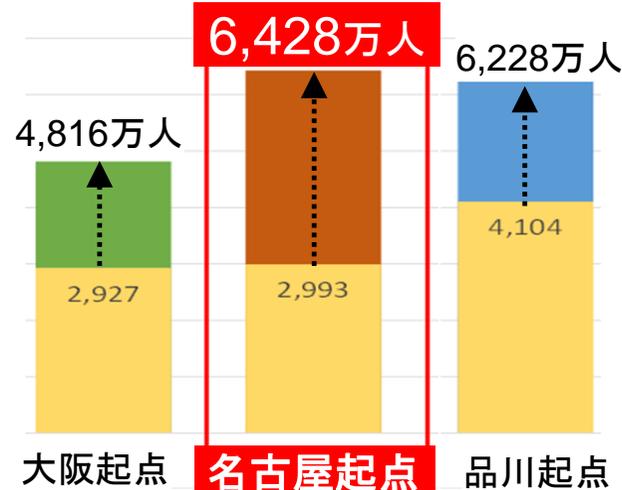
- リニア全線開業時の名古屋からの2時間圏人口は、全国の約5割
- 人的交流による、観光振興、産業活動等の活性化に期待

## 名古屋起点の2時間圏 首都圏、近畿圏まで拡大

- 120分圏(現状※)
- 120分圏(開業時※)



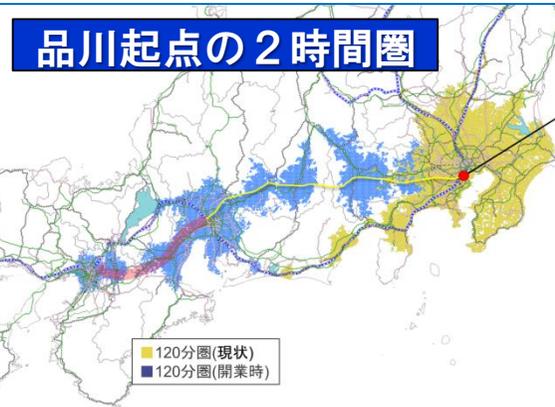
**名古屋起点が最大**



## 観光振興の取組



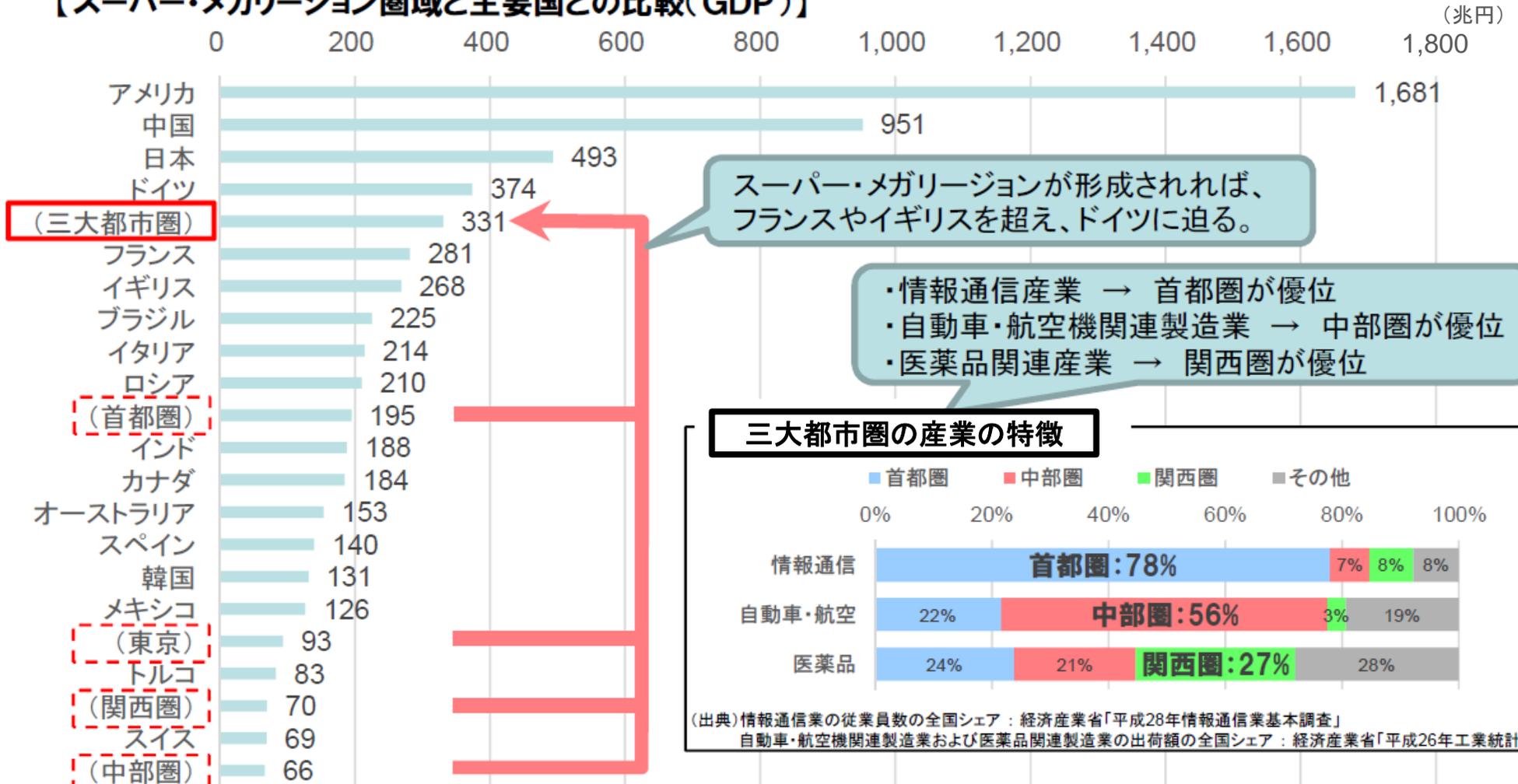
外国人旅行者の増加を図るため、中部北陸9県の産官が広域的に連携し、「昇龍道」連絡調整会議を設立(H30.3)



# スーパー・メガリージョンの新たな可能性の発揮

○3圏域の特色を発揮しつつ、対流・融合することにより、幅広い分野で新たな価値を創出

【スーパー・メガリージョン圏域と主要国との比較(GDP)】



(出典)「平成25年度県民経済計算について」(内閣府経済社会総合研究所)

※中部圏:愛知県、岐阜県、三重県、静岡県



# 名古屋駅周辺のまちづくり構想

○“世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ”を目標に名古屋市が「名古屋駅周辺まちづくり構想」を策定

## ■目標とするまちの姿

### 世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ

～国際レベルのターミナル駅を有する魅力と活力にあふれるまち～

高いレベルの機能性を備えたまちづくりを着実に進めるとともに、広く観智を集め、世界の人々が集まり、魅了し続けるまちを目指します。

## ■まちづくりの基本方針

### 【基本方針1】 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

- (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する
- (2) 玄関口にふさわしい風格とにぎわいを感じさせる顔づくりを進める
- (3) ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい安全性を確保するとともに、環境負荷の少ないまちを形成する

### 【基本方針2】 誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる

- (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する
- (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する

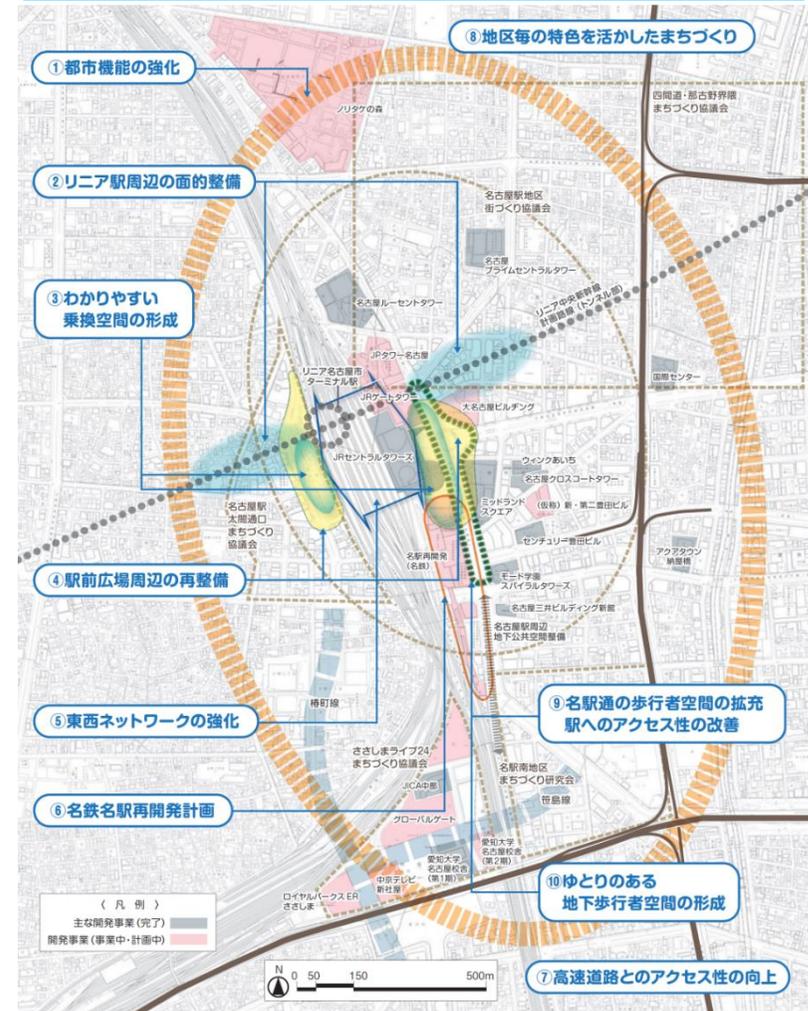
### 【基本方針3】 都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つなげていく

- (1) 城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす
- (2) 人が主役の歩いて楽しい空間を形成し、回遊性を高める

### 【基本方針4】 リニア開業を見据え、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- (1) まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する

## 名古屋駅周辺の主要プロジェクトのイメージ



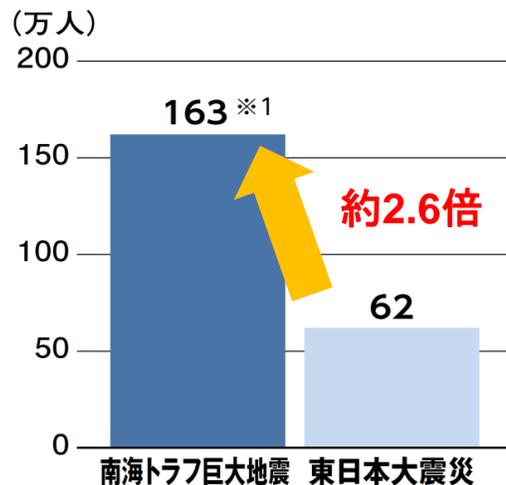
# 中京圏の災害リスク

○南海トラフ地震による被害は死者・行方不明者数で東日本大震災の約17倍と想定

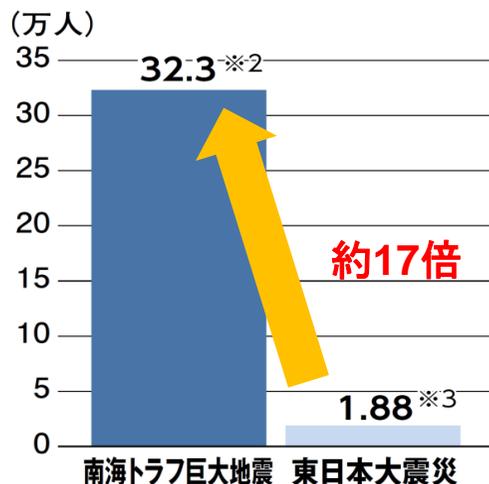
## 浸水面積



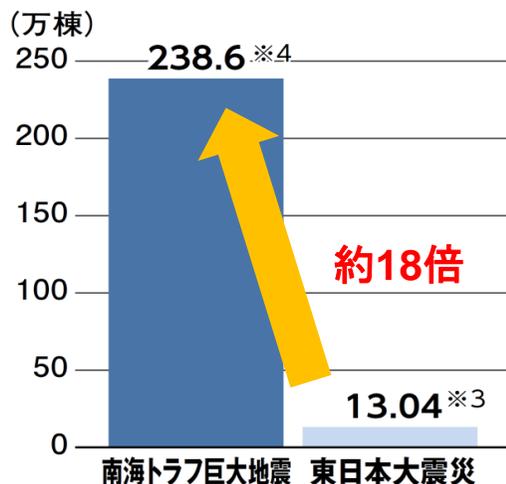
## 浸水域内人口



## 死者・行方不明者数



## 建物被害(全壊棟数)



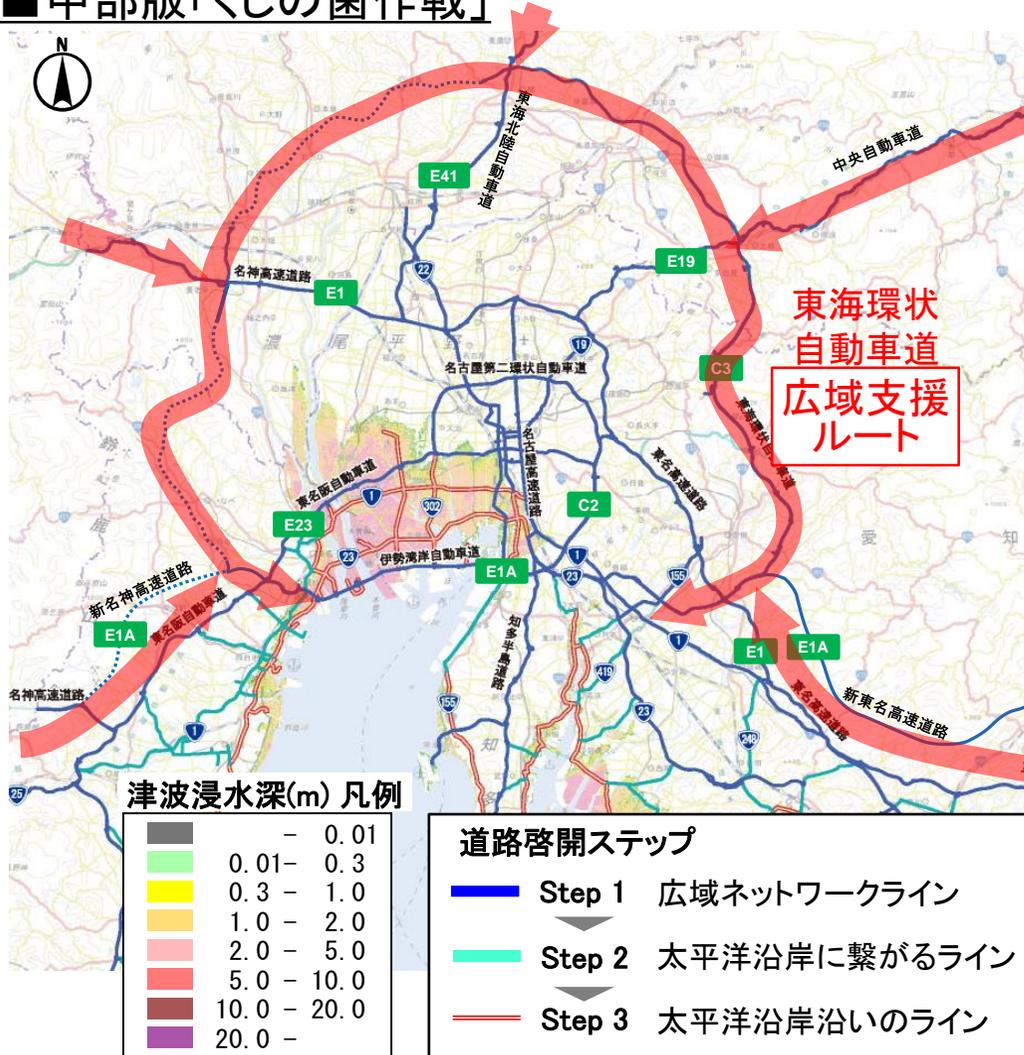
※1：堤防・水門が地震動に対して正常に機能する場合の想定浸水区域  
※2：地震動(陸側)、津波ケース(ケース①)「駿河湾～紀伊半島沖」に大すべり域を設定、時間帯(冬・深夜)、風速(8m/s)の場合の被害  
※3：平成24年5月30日警察庁発表(死者・行方不明者数)  
※4：地震動(陸側)、津波ケース(ケース⑤)「四国沖～九州沖」に大すべり域を設定、時間帯(冬・夕方)、風速(8m/s)の場合の被害  
出典：平成24年8月29日中央防災会議「南海トラフ巨大地震の被害想定について(第一次報告)」

# 中京圏の災害リスクへの対応

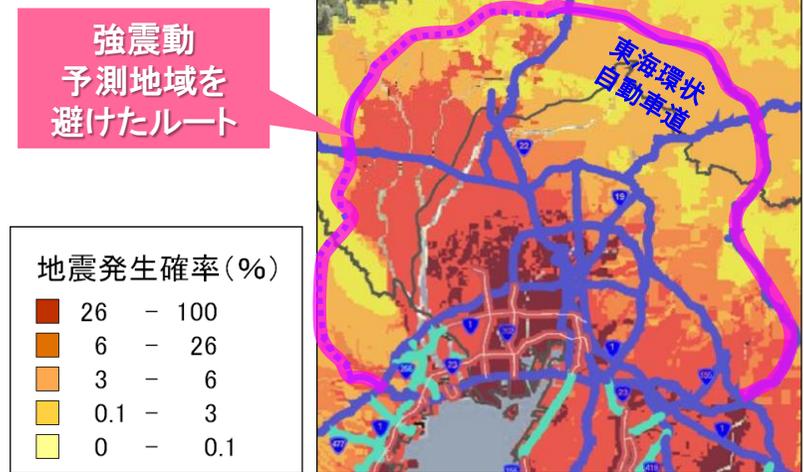
○中京圏は南海トラフ地震の脅威が切迫

○東海環状自動車道等の道路整備によって、災害リスクを回避し広域支援ルートとして機能

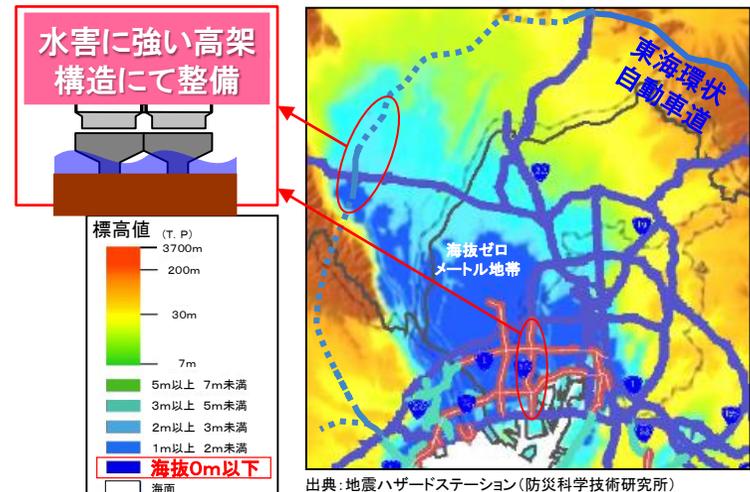
## ■中部版「くしの歯作戦」



## ■震度6弱以上の地震発生確率(今後30年間)



## ■海拔ゼロメートル地帯



# 南海トラフ地震などの災害に強しなやかな国土

- 大規模災害、早期復旧復興のための体制・基盤整備
- 太平洋・日本海広域企業間BCP

## ■太平洋・日本海2面活用型国土構築



\* 広域連携防災訓練



静岡県・国交省・自衛隊連携訓練

\* 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE)



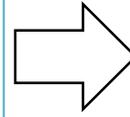
H26.8豪雨災害 (広島県)

東日本大震災 宮古市(旧田老町)



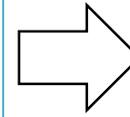
# 中京圏における将来像の実現に向けて

<世界の中の中部>  
世界最強・最先端のものづくり  
産業・技術のグローバル・ハブ



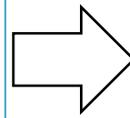
ネットワーク整備により産業支援、  
国際競争力の強化

<日本の中の中部・中部の中の人々>  
リニア効果を最大化し都市と地方の  
対流促進、ひとり一人が輝く中部



高速交通ネットワークを活かし  
中部北陸に広がる国内外との  
交流連携、対流促進

<前提となる安全・安心、環境>  
南海トラフ地震などの災害に強く  
しなやか、環境と共生した国土



災害に強い  
交通ネットワークの構築



- リニア名古屋駅、名古屋港等の拠点を結ぶ高速道路ネットワークの充実
- 高速道路ネットワークが利用者にとってより使いやすいものとなるよう有効活用
- 「世界最強のものづくり」の機能を最大限発揮するため、東海環状等のミッシングリンク解消により、中京圏の交通を円滑化